

授業科目名	コミュニケーション学 (英: Human Relations)		
対象学年	1年生	単位	2単位
科目責任者	たづま すずむ 田妻 進	所属	総合診療科 (内線 5461)
		メール	stazuma@hiroshima-u.ac.jp
科目コーディネーター	おおたに ゆういちろう 大谷 裕一郎	所属	総合診療科 (内線 4592)
		メール	yuichiro-otani@hiroshima-u.ac.jp
授業方法	講義		
概要	人間関係の基本は「好意」を得ること、そのためには「聴く」姿勢が重要であることを理解し、医療利用者（患者、家族）との信頼関係を築く礎となるさまざまなコミュニケーション技術を知る。		
科目の到達目標	<p>コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。</p> <p>対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。</p> <p>人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。</p> <p>主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。</p> <p>集団の中の人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。</p> <p>効果的な対人コミュニケーションを説明できる。</p> <p>話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。</p> <p>個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。</p> <p>文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。</p>		
講義日程	別紙日程表を参照のこと		
出席の取り扱い	3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。		
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）		
評価法	記述形式にて試験を行う。 記述問題の総点と出席点（40点程度）を加算して100点満点として計算する。記述問題の採点基準は、記述式問題は3題あり、採点基準は表現（読みやすさ、誤字脱字）、記載内容（文章量、考察の幅広さと深さ）などを元に行う。		
履修上の注意 アドバイス	グループワークでは積極的に参加をすること。解剖学等忙しい時期であるが、特に予習・復習を要するプログラムではないので、講義には必ず出席し、この時間は医療におけるコミュニケーションのあり方について考えをめぐらせてもらいたい。		
推奨参考書	齊藤清二：はじめての医療面接ーコミュニケーション技法とその学び方ー。医学書院、東京、2000		